

第1回 人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会	資料
平成 29 年 8 月 3 日	4 - 2

平成 29 年度 人生の最終段階における医療に関する意識調査

調査票 案

国民票 案 P 2 ~ 17

医師（看護師、介護職員）票 案 P 18 ~ 25

施設票 案 P 26 ~ 31

(問2で「③ 話し合ったことはない」と回答の方に)

問2-2 これまで話し合ったことはない理由は、何ですか。(複数回答可)

- ① 話し合いたくないから
- ② 話し合う必要性を感じていないから
- ③ 話し合うきっかけがなかったから
- ④ 知識が無いため、何を話し合っているかわからないから
- ⑤ その他 ()

問3 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うタイミングがあるとすると、いつ頃が良いタイミングだと思いますか。(話し合ったことがある方は、いつ頃でしたか。)(複数回答可)

- ① 20歳未満
- ② 20～30歳代
- ③ 40～50歳代
- ④ 60歳代
- ⑤ 70歳代
- ⑥ 年齢は関係ない
- ⑦ その他 ()
- ⑧ わからない

問4 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすると、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある方は、何がきっかけでしたか。)(複数回答可)

- ① 結婚
- ② 妊娠・出産(配偶者の場合も含む)
- ③ 自分の病気
- ④ 退職
- ⑤ 還暦
- ⑥ ご家族等の病気や死
- ⑦ 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)から情報を得た時
- ⑧ 医療や介護関係者による説明や相談の機会を得た時
- ⑨ その他 ()

問5 あなたの死が近い場合の受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 新聞 | ⑦ 研修会や講演会 |
| ② 雑誌 | ⑧ 医療機関・介護施設 |
| ③ 書籍 | ⑨ 自治体(都道府県・市区町村) |
| ④ テレビ | ⑩ その他() |
| ⑤ ラジオ | |
| ⑥ インターネット | |

問6 あなたの死が近い場合の受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養を考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- | |
|------------------------------|
| ① 人生の最終段階の症状や状態の変化 |
| ② 人生の最終段階に行われる医療の内容 |
| ③ 人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報 |
| ④ 人生の最終段階に受けた医療・療養の場所に関する体験談 |
| ⑤ 人生の最終段階における、自分の意思の伝え方や残し方 |
| ⑥ 人生の最終段階の相談・サポート体制 |
| ⑦ その他() |
| ⑧ 知りたくない |

問7 あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | |
|---------|
| ① 賛成である |
| ② 反対である |
| ③ わからない |

(問7で「① 賛成である」と回答の方に)

問7-1 実際に書面を作成していますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------|
| ① 作成している |
| ② 作成していない |

問8 あなたは、意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| ① 定めてほしい | ③ 定めるべきでない |
| ② 定めなくてもよい | ④ わからない |

問9 自分が意思決定できなくなったときに備えて、自分が信頼して自分の医療・療養を決めてほしいと思う人、もしくは人々を選定しておくことについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | |
|---------|
| ① 賛成である |
| ② 反対である |
| ③ わからない |

問9で「① 賛成である」と回答の方にお伺いします。

問9-1 実際に選定していますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------|
| ① 選定している |
| ② 選定していない |

問9-1で「① 選定している」と回答の方にお伺いします。

問9-2 選定された人は、あなたの希望について、どの程度知っていると思いますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------|
| ① 十分に知っていると思う |
| ② 知っていると思う |
| ③ よく知らないと思う |

問10 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------------------|--------|
| ① 中身も知っている | ② 聞いたことはあるがよく知らない | ③ 知らない |
|------------|-------------------|--------|

問11 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング＜ACP＞）が重要とされています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- ① 賛成である
- ② 反対である
- ③ わからない

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の、医療に関するご希望を伺います。3つの異なる状態を示すので、それぞれについてお答えください。】

問12 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか

—あなたの病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問12-1 どこで過ごししながら医療・療養を受けたいですか。（○は1つ）

- ① 医療機関
- ② 介護施設
- ③ 自宅

問12-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。（○は1つ）

- ① 医療機関
- ② 介護施設
- ③ 自宅

問12-1、問12-2で「①医療機関」「②介護施設」をお選びの方へお伺いします。

問12-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていないから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていないから
- ④ 24時間相談にのってくれるところがないから
- ⑤ 介護してくれる家族等がないから
- ⑥ 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- ⑦ 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- ⑧ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
- ⑩ 居住環境が整っていないから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問12-2で「③自宅」をお選びの方にお伺いします。

問12-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問 1 2 - 5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

- (ア) 副作用はあるものの、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)
① 望む ② 望まない ③ 分からない

問13 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問13-1 どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいですか。(〇は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問13-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(〇は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問13-1、問13-2で「①医療機関」「②介護施設」をお選びの方へお伺いします。

問13-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていないから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていないから
- ④ 24時間相談にのってくれるところがないから
- ⑤ 介護してくれる家族等がないから
- ⑥ 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- ⑦ 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- ⑧ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
- ⑩ 居住環境が整っていないから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問13-2で「③自宅」をお選びの方にお伺いします。

問13-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問13-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

- (ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと) 望む ② 望まない ③ 分からない

問14 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—

認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問14-1 どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。(〇は1つ)

① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問14-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(〇は1つ)

① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問14-1、問14-2で「①医療機関」「②介護施設」をお選びの方へお伺いします。

問14-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていないから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていないから
- ④ 24時間相談にのってくれるところがないから
- ⑤ 介護してくれる家族等がないから
- ⑥ 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- ⑦ 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- ⑧ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
- ⑩ 居住環境が整っていないから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問14-2で「③自宅」をお選びの方にお伺いします。

問14-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っているから
- ③ 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他（ ）

問14-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

- (ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)
② 望む ② 望まない ③ わからない
- (エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)
② 望む ② 望まない ③ わからない
- (オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)
② 望む ② 望まない ③ わからない
- (カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと) 望む ② 望まない ③ 分からない

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

F 1 性別

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

F 2 満年齢

1 20-24歳	5 40-44歳	9 60-64歳	13 80-84歳
2 25-29歳	6 45-49歳	10 65-69歳	14 85歳以上
3 30-34歳	7 50-54歳	11 70-74歳	
4 35-39歳	8 55-59歳	12 75-79歳	

F 3 同居している方はいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

(F 3で「1 いる」と回答の方に)

F 3-1 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに〇をつけてください。

1 夫又は妻	4 娘	7 兄弟姉妹	10 その他
2 父母	5 息子の妻	8 孫	
3 息子	6 娘の夫	9 その他の親族	

F 4 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。

(〇は1つ)

1 中学 (小学校・高等小学校を含む)
2 高校 (旧制中学を含む)
3 短期大学、高等専門学校・専門学校 (高卒後3年以内の教育)
4 大学・大学院

F 5 あなたには、信頼しているかかりつけ医がいますか？

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

F 6 あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる介護を、最近5年間に経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 入院で経験した | 2 施設入所で経験した |
| 3 在宅療養で経験した | 4 経験していない |

F 7 あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|------------|------------|
| 1 病院で経験をした | 2 施設で経験をした |
| 3 在宅で経験をした | 4 経験していない |

(F 7で「1 病院で経験をした」「2 施設で経験をした」「3 在宅で経験をした」と回答の方におたずねします)

F 7-1 大切な人の死において 心残りがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

(F 7-1で「1 ある」と回答の方におたずねします)

F 7-2 どうしていたら心残りがなかったと思いますか。(複数回答可)

- | |
|--|
| ① あらかじめ身近で大切な人と人生の最終段階について話し合えていたら |
| ② もっと早く医療や介護関係者等と人生の最終段階について話し合いをしていたら |
| ③ 信頼できる医療や介護関係者等と出会えていたら |
| ④ 同じ医師に継続して診療してもらえていたら |
| ⑤ 大切な人の苦痛がもっと緩和されていたら |
| ⑥ 望んだ場所で療養できていたら |
| ⑦ 望んだ場所で最期を迎えていたら |
| ⑧ その他 () |

医師（看護師、介護職員）票案

問1 患者の意向を尊重した人生の最終段階における医療の充実のために、何が必要だと思いますか。

（複数回答）

- ① 医療従事者への教育・研修
- ② 患者・家族等への相談体制の充実
- ③ 疾病の有無に関わらず、人生の最終段階における医療について考えるための情報提供
- ④ 人生の最終段階について話し合った内容について、本人や家族等との共有の仕方
- ⑤ その他（ ）

※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（知人、友人）を含みます。

問2 あなたは、担当される死が近い患者の医療・療養について、患者本人と十分な話し合いを行っていますか。（○は1つ）

※患者の意思が確認できない場合は、患者本人の意思に基づいて家族等と話し合っていますか。

- ① 十分行っている
- ② 一応行っている
- ③ ほとんど行っていない
- ④ 人生の最終段階の患者に関わっていない

問2で「① 十分行っている」「② 一応行っている」と答えた方におたずねします。

問2-1 どのような内容を話し合っていますか。（複数回答可）

- ① 人生の最終段階の症状や行われる治療の内容や意向
- ② 人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報
- ③ 本人の気がかりや意向
- ④ 本人の価値観や目標
- ⑤ その他（ ）

問2で「① 十分行っている」「② 一応行っている」と答えた方におたずねします。

問2-2 あなたは患者やその家族等と人生の最終段階の医療・療養についての話し合いをいつ行っていますか。(複数回答可)

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき(例:根治的治療をやめるとき)
- ③ 病気の進行に伴い、死期がせまっているとき
- ④ 患者や家族等から人生の最終段階の医療について相談があったとき
- ⑤ 人生の最終段階に限ることなく、日々の診察の中で話し合っている
- ⑥ その他

問2で「① 十分行っている」「② 一応行っている」と答えた方におたずねします。

問2-3 あなたは、担当される死が近い患者の医療・療養について、患者本人(もしくは家族等)と話し合った内容を、他の医師や看護師・介護職員等と情報共有していますか。(〇は1つ)

- ① 記録に残して共有している
- ② 記録には残していないが、日々のミーティング等で共有している
- ③ 特に共有していない。

問2で「③ ほとんど行っていない」と回答された方にお伺いします。

問2-4 ほとんど行っていない理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 人生の最終段階における話し合いのノウハウがないため
- ② 話し合う余裕がないため
- ③ 人生の最終段階の話しを切り出すことに抵抗を感じるため
- ④ 人生の最終段階を迎える患者と関わる機会が少ないため
- ⑤ その他()

問3 人生の最終段階の医療・療養の方針について、医師や看護・介護職員等の間に意見の相違が起こったことがありますか。(〇は1つ)

- ① ある
- ② ない
- ③ 人生の最終段階の患者に関わっていない

問3で「1 ある」と回答の方に

問3-1 院内の倫理委員会等に相談しましたか。(〇は1つ)

- ① 相談した
- ② 倫理委員会等はあるが相談していない
- ③ 倫理委員会等の相談するための体制がない

問4 あなたは患者が医療・療養の選択について意思決定できなくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいかあるいは受けたくないか、かわりに誰に意思決定してもらいたいかならからじめ記載する書面(事前指示書)を用いることを勧めていますか。

(〇は1つ)

- ① 人生の最終段階の患者に勧めている
- ② 人生の最終段階の患者に限らず勧めている
- ③ 患者・家族等から相談があった時に勧めている
- ④ 特に書面は用いていない

問5 あなたは患者が医療・療養の選択について意思決定できなくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいか、代わりに誰に意思決定してもらいたいかなどの代理意思決定できる人をいつ確認していますか。

(複数回答可)

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき(例:根治的治療をやめるとき)
- ③ 病気の進行に伴い、死が近づいているとき
- ④ 患者や家族等から人生の最終段階について相談があった時
- ⑤ その他
- ⑥ 確認していない

問9 あなたは、人生の最終段階の定義や、延命治療の不開始、中止等を行う場合の判断基準について、どう考えますか。(〇は1つ)

- ① 詳細な基準を示すべきである
- ② 大まかな基準を作り、それにそった詳細な方針は、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して決定すればよい
- ③ 一律な基準は必要なく、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して方針を決定すればよい
- ④ その他(具体的に) ()
- ⑤ わからない

問10 もしあなたの患者が以下のような病状になった場合、どのような医療をすすめますか

－患者の病状－
末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。
－医療上の判断－
「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

問10-1 どこで療養することをすすめますか。(〇は1つ)

- ① 医療機関
- ② 介護施設
- ③ 自宅

問10-2 どこで最期を迎えることをすすめますか。(〇は1つ)

- ① 医療機関
- ② 介護施設
- ③ 自宅

問10-3 下記のア～キの治療をすすめますか？（○はそれぞれ1つ）

- (ア) 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること（中心静脈栄養）
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなる場合もあります）
①すすめる ②すすめない ③わからない
- (キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）
①すすめる ②すすめない ③わからない

【フェースシート】

F1 実務経験はどのくらいありますか。

1	1－5年	5	21－25年	9	41－45年
2	6－10年	6	26－30年	10	46－50年
3	11－15年	7	31－35年	11	50年以上
4	16－20年	8	36－40年		

F2 専門としている領域は以下のうちどれですか。(医師に限る)(複数回答可)

1	内科	8	眼科	15	臨床検査
2	小児科	9	耳鼻咽喉科	16	救急科
3	皮膚科	10	泌尿器科	17	形成外科
4	精神科	11	脳神経外科	18	リハビリテーション科
5	外科	12	放射線科	19	総合診療科
6	整形外科	13	麻酔科	20	緩和ケア科
7	産婦人科	14	病理	21	その他()

F3 現在勤務している施設は以下のうちどれですか。(○は1つ)

1	病院
①	(ア、199床未満 イ、200～499床 ウ、500床以上)
②	(ア、在宅療養支援病院である イ、在宅療養支援病院ではない)
2	診療所
①	(ア、無床 イ、有床(床))
②	(ア、在宅療養支援診療所である イ、在宅療養支援診療所ではない)
3	訪問看護ステーション
4	介護老人福祉施設
5	介護老人保健施設
6	その他()

F4 緩和ケア研修会や人生の最終段階の意思決定支援に係る研修を修了していますか。

(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 修了している |
| ア. 緩和ケア研修会 (PEACE) |
| イ. 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会 (厚生労働省) |
| ウ. イ以外の ACP の内容を含むその他研修会 (研修名: _____) |
| 2 修了していない |
| 3 今後、参加する予定 |
| 4 緩和ケア研修会・EOL 研修を知らない |

F5 あなたは死が近い患者とどのくらい関わりますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 1ヶ月に1名以上 | 3 1年に1名程度 |
| 2 半年に1名以上 | 4 亡くなることはまずない |

施設票 案

問1 あなたの施設では、人生の最終段階の患者・利用者の医療・療養の方針について、患者・利用者、家族等と施設関係者（医師や看護、介護職員等）が集まって十分な話し合いが行われていますか。（〇は1つ）

- ① 十分行われている
- ② 一応行われている
- ③ ほとんど行われていない
- ④ まったく行われていない
- ⑤ 人生の最終段階の患者がほとんどいないので、機会がない

※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（知人、友人）を含みます。

問2 あなたの施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について本人・家族と話し合いをいつ行っていますか。（複数回答可）

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき（例：根治的治療をやめるとき）
- ③ 病気の進行にともない、死期近づいているとき
- ④ 患者や家族から人生の最終段階の医療について相談があったとき
- ⑤ 病状と関係なく、自施設の利用が始まる時
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ わからない

問3 あなたの施設では、患者・利用者が医療の選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいかあるいは受けたくないか、自分で意思決定出来なくなった場合に備えて代わりに誰に意思決定してもらいたいかをあらかじめ記載する書面（事前指示書）を用いていますか。（〇は1つ）

- ① 施設の方針として、用いている
- ② 施設の方針は特に決めていないが、用いることもある
- ③ 用いていない

問4 あなたの施設では、利用中に医療の選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、代わりに誰に意思決定してもらいたいかなどの代理意思決定できる人をいつ確認していますか。（複数回答可）

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき（例：根治的治療をやめるとき）
- ③ 病気の進行にともない、死が近づいているとき
- ④ 患者や家族から人生の最終段階について相談があったとき
- ⑤ 病状と関係なく、自施設の利用が始まる時
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ 確認していない

問5 あなたの施設には、通常の話し合いでは、延命のための処置を開始しないことや処置を中止することなどの方針の決定が難しい場合に、医療従事者等が助言を求めることができる複数の専門家からなる委員会（倫理委員会やコンサルテーションチームのようなもの）はありますか。（〇は1つ）

- ① ある
- ② ない
- ③ わからない

問6 あなたの施設では、人生の最終段階における医療・療養に関して、患者・利用者、家族等に対して、人生の最終段階の病状や医療処置等について解説するための説明用資料の準備がありますか。（複数回答可）

- ① 行政が作成したパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ② 学会や医療機関が作成したパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ③ 施設独自のパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ④ その他（ ）
- ⑤ 特にパンフレット・リーフレット・書類は準備していない
- ⑥ 人生の最終段階における説明をしていない

ACP（アドバンスケアプランニング）の解説

今後の医療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのことである。

患者が同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアに関わる人々の間で共有されることが望ましい。そして、ACPの話し合いには次のような内容が含まれる。

- ・患者本人の気がかりや意向
- ・患者の価値観や目標
- ・病状や予後の理解
- ・医療や療養に関する意向や選好、その提供体制 等

問7 あなたの施設では、施設の方針として人生の最終段階の患者・利用者に対して、上記解説のACP（アドバンスケアプランニング）の内容を実践していますか。

（○はひとつ）

- ① 実践している
- ② 実践していない（→ 実践を検討中である 実践の検討はない
- ③ ACPを知らない

問8 あなたの施設では、施設の職員を人生の最終段階の意思決定支援に係る研修（厚生労働省又はACPの内容を含むその他の研修会）に参加させていますか。（○はひとつ）

- ① 参加させている（研修名： _____）
- ② 検討中
- ③ 機会があれば参加させたい
- ④ 今のところ考えてはいない

問9 あなたの施設では、施設の方針として、本人・家族等と人生の最終段階の医療・療養について話し合った情報（人生の最終段階の患者・利用者の医療・療養の方針や療養場所、最期を迎える場所等）について、医師や看護・介護職員等の関係者間で情報共有していますか。（複数回答可）

- ① 記録に残して共有している
- ② 日々のミーティングで共有している
- ③ 特に定めていない
- ④ 人生の最終段階については話し合っていない
- ⑤ わからない

問13 あなたの施設では、患者・利用者が望む場所での医療・療養を実現するための支援をしていますか。

(○は1つ)

- ① 専門の職員を配置し、支援している
- ② 担当医師や医療・ケアチームが支援するよう、職員に対して指導している
- ③ 施設として特段の対応はしていないが、必要な支援は行われていると思う
- ④ 支援は行っていない
- ⑤ どちらとも言えない
- ⑥ その他 ()

【フェースシート】

F 1 あなたの施設が有するすべての下記ア～キの病床数（介護系施設の場合には定員数）について記載してください

(ア) 精神病床	1 病床有り () 床	2 病床無し
(イ) 感染症病床・結核病床	1 病床有り () 床	2 病床無し
(ウ) 療養病床	1 医療療養病床あり () 床	
	2 介護療養病床あり () 床	
	3 病床無し	
(エ) 一般病床	1 病床有り () 床	2 病床無し
(オ) 診療所	1 病床有り () 床	2 病床無し
(カ) 訪問看護ステーション		
(キ) 介護老人福祉施設	1 入所定員 () 人	
(ク) 介護老人保健施設	1 入所定員 () 人	
(ケ) (キ) (ク) 以外の介護施設	1 施設有り	2 施設無し

F 2 あなたの施設での過去1年間の看取り数を教えてください。

() 人

F 3 介護施設の施設長にお伺いします。あなたの施設での過去1年間の救急搬送の数を教えてください。

() 件

F 4 病院・診療所の施設長へ質問です。該当するものに○をして下さい

1 (ア、訪問診療をしている	イ、訪問診療をしていない)
2 (ア、在宅療養支援診療所である	イ、在宅療養支援診療所ではない)
3 (ア、在宅療養支援病院である	イ、在宅療養支援病院ではない)

F 5 あなたの主たる資格についてお答え下さい (2つ以内)

1 医師 2 歯科医師 3 薬剤師 4 看護師 5 リハビリ専門職 (PT/OT/ST) 6 栄養士
7 社会福祉士など相談系資格 8 介護福祉士 9 ケアマネジャー 10 事務系資格
11 その他国家資格 (記載:) 12 なし